

金融サービス利用者相談室における相談の受付状況(トピックス)

資料 4 - 4

◎詐欺的な投資勧誘

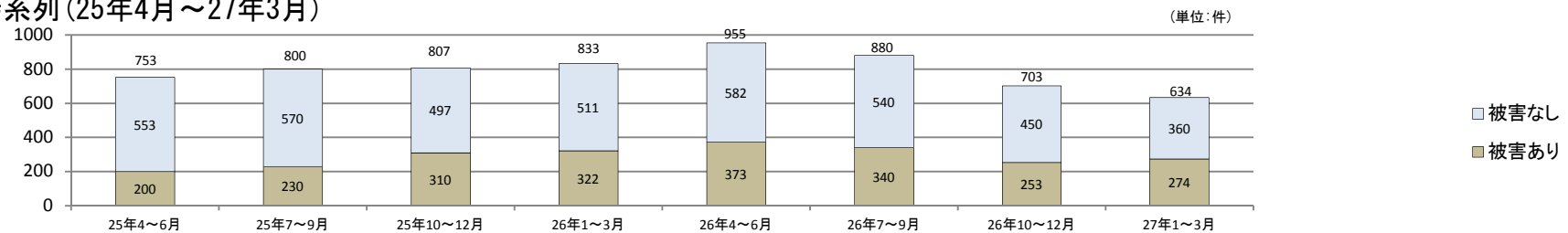
～ 件数はやや減少、**高齢者が大部分(71%)を占める**傾向は変わらず。**20～40代の相談(特に海外との取引)が多い。**～

今期(27年1月～3月) : 634件(前期比▲69件、▲9.8%)

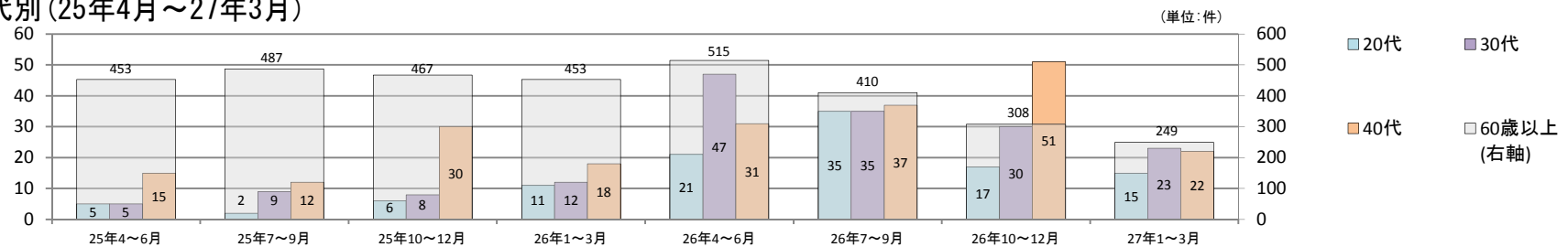
年代が判るもの : 342件(うち60代以上249件、**73%**(前期70%))

詐欺的な投資勧誘に関する情報の受付状況

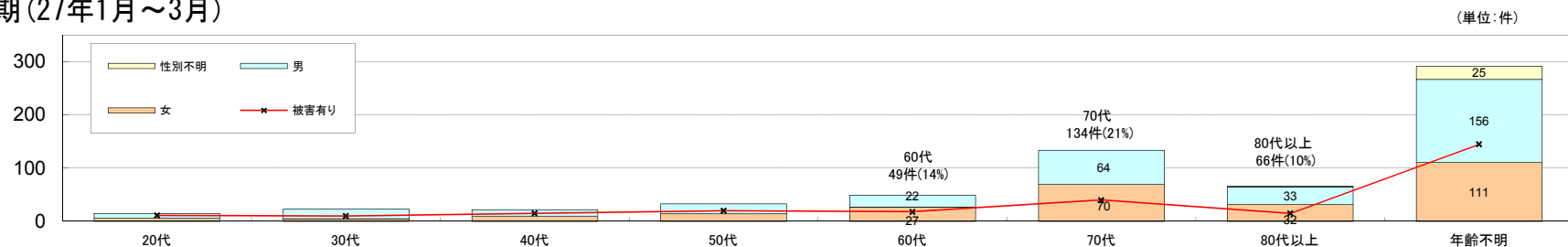
時系列(25年4月～27年3月)



年代別(25年4月～27年3月)



今期(27年1月～3月)



相談件数は20～40代が少なく高齢者(60代以上)が多いものの、相談件数に占める「被害有り」の割合は20～40代が高く(60%)、高齢者が低い(30%弱)。

20～40代の相談は、「ネットでつけた海外業者とFX取引を行った。取引をやめたい。」「海外の投資会社の紹介を受けた。」など、海外の業者に絡む相談が多い

(注)年齢は、25年4月より聴取を開始。比率は、年代が判るものの中での比率とした